

北海道浮魚ニュース

令和5(2023)年度14号

2023年8月31日

道総研 釧路水産試験場

【URL】 http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/kushiro/section/zoushoku/ukiuo_news.html

◎第1回太平洋スルメイカ中短期漁況予報発表される

8月31日、漁業情報サービスセンターより、第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は太平洋海域を対象とした2023年9月の予報です。

なお、この予報は国及び太平洋側道県の水産研究機関が参画し、漁業情報サービスセンターがとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のサイトでご覧になれます。

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁況情報

(<https://www.jafic.or.jp/information/category/gyokyo/>)

今後の見通し (2023年9月)

対象魚種：スルメイカ

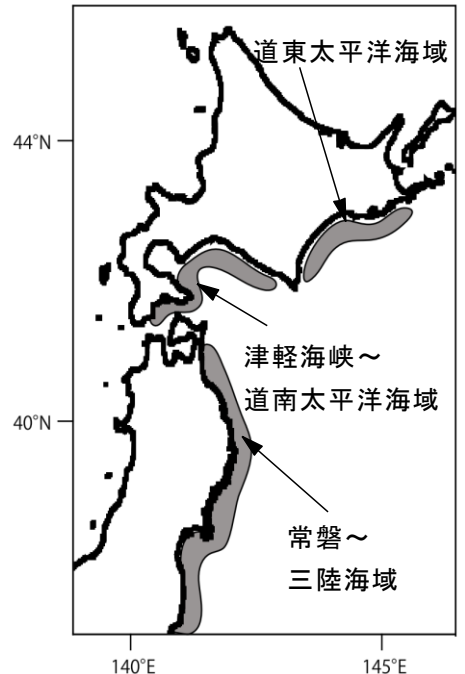
対象海域：太平洋（常磐～三陸海域、津軽海峡～道南太平洋海域、道東太平洋海域）

対象漁業：いか釣り、底びき網、定置網、まき網

対象魚群：冬季発生系群（2023年級群）

- ・道東太平洋（いか釣り、底びき網）：来遊量は前年を下回る。群がまとまらず漁場形成は散発的となる。
- ・津軽海峡～道南太平洋海域（いか釣り、定置網）：来遊量は前年並。対象期間を通じて漁場となる。
- ・常磐～三陸海域（いか釣り、底びき網、定置網、まき網）：来遊量は前年並。対象期間を通じて漁場となる。

※文中の「前年」は2022年のことです。



・漁況は2023年7月31日に発表された第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報（浮魚ニュース第8号参照）、及びその後の各地の漁況経過、調査結果等から予測されました。

・道南太平洋海域については、第1回漁場一斉調査（釧路水試分は浮魚ニュース第5号参照）での津軽海峡周辺海域の分布密度、及び主要港での6月～8月中旬の漁獲量は前年を下回った一方、6月～7月に三陸～道東沖合で実施した表層トロールネット調査での分布密度は前年を上回り、全体としてこの海域における9月の来遊量は前年並と予測されました。

・道東太平洋海域については、第1回漁場一斉調査での沖合の分布密度は前年を下回り、6月～8月中旬の小型いか釣り船による漁獲もみられなかったことから、9月における来遊量は前年を下回ると予想され、9月の海況は広範囲に高水温となり群がまとまらないと予想されることから漁場形成も散発的になると考えられます。

（釧路水産試験場調査研究部 TEL：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225）